

平成23年度 特定設備事故届出状況（エレベーター）

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	5/8	扉に挟まれた	両親同伴の幼児が、扉に左親指を挟まれた。	マーケット	5歳以下	1	左手親指の爪剥離	入院不要	注意喚起放送を定期的に行う。
2	6/3	扉に挟まれた	エレベーター扉が開く際、指が当たり扉可動部と枠に挟まれた。	共同住宅	6～12歳	1	指のはれ	入院不要	注意喚起シールを貼ることを検討中
3	7/7	扉に巻き込まれた	エレベーターホールにいた子供が扉に手をついていた際、エレベーター扉が開いて右手が扉枠内に引き込まれた。	事務所	5歳以下	1	手のはれ	入院不要	通常の運行では起きないため、特に対策は講じない
4	7/17	扉に挟まれた	母親に抱かれた幼児が、扉が開いた際、右側立柱と扉の間に指を挟まれた。	百貨店	5歳以下	1	指のはれ	入院不要	注意喚起掲示（指詰め注意のステッカー）を強化する。
5	7/26	扉に挟まれた	降りる際にエレベーター扉が閉まり、右手首をドアに挟まれた。	その他	65歳以上	1	右手首擦過傷	入院不要	戸開時間を長く変更するとともに、注意喚起シール、ステッカーを追加掲示した。
6	9/2	閉じ込め	2階より下降時に1階上70センチにて非常停止し、約60分閉じ込め状態となった。	共同住宅	20～64歳	1	体調不良	入院不要	劣化した制御基盤等を交換するとともに、インターホンを直接保守会社と通じるように改良した。
7	9/3	扉に巻き込まれた	かご内にいた幼児が、扉が開く際、扉に手を添えていたため、指を戸袋に引き込まれた。	共同住宅	5歳以下	1	指打撲	入院不要	従来より事故対策を講じている。（注意喚起掲示）
8	10/1	扉に挟まれた	夫婦でエレベーターから出る際、妻が謝って閉ボタンを押したため、夫が閉まり始めた扉にぶつかり、転倒した。	共同住宅	不明	1	指切り傷	入院不要	従来より事故対策を講じている。（注意喚起掲示）
9	11/5	扉に巻き込まれた	幼児が扉に手をついていたため、扉が開く際に戸袋部に手を引き込まれた。	百貨店	5歳以下	1	手掌のはれ	不明	従来より事故対策を講じている。（注意喚起掲示）
10	(H24年)1/6	扉に挟まれた	エレベーターに乗った2歳児が、扉が開く際に手をついていたため、扉と枠の間に左手を挟まれた。	百貨店	5歳以下	1	手に擦り傷	入院不要	各エレベーターに挟み込み注意喚起シールを取り付けた。